

国語科 第1学年 シラバス

1 年間のねらい

- ・社会生活に必要な国語について、その特質を理解して適切に使うことができるようにする。
- ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2 指定教科書

| | | | |
|-----|-----|-----------|---|
| 国語科 | 一学年 | 教科書名（出版社） | 現代の国語一（三省堂）中学書写一・二・三年（光村図書） |
| | | 副教材（出版社） | 国語便覧（浜島書店） 学習漢字ノート一年（浜島書店） まんがで理解楽しい文法（東京法令出版） |

3 学習到達目標

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
- ・我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養う。
- ・日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものとするようにする。
- ・言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

4 学習の進め方

【主な授業の進め方】

- ・教科書の単元ごとに学習内容と到達目標を提示し、また各時間の学習内容をつねに意識させる。
- ・一斉の学習、グループでの学習、個別の学習を学習内容及び到達目標に合わせて適切に設定して進める
- ・前項の内容を達成するために、ワークシート、副教材を適切に利用する。

【思考力・判断力・表現力の育成】

- ・正確に内容を読み取る力、聞き取る力を高める。また、それらをもとに自己の考えを整理する能力を高める。
- ・相手に正確に伝わるかを意識しながら、書いたり、話したりする能力を高める。

【望ましい家庭学習】

国語の力は、授業だけではなく、日常生活の中でも養われる。日頃から読書をしたり、新聞を読んだり、家族や友人と会話をする中で、使える言葉の数を増やす。また、読んだことや聞いたことについて、「なんでだろう・どうしてなのか。」など、自分で考えてみるとさらによい。漢字の学習は毎日少しずつ進めていく。

5 年間シラバス（1年間の主な学習予定）

| 学期 | 学習内容・項目 | 学習のポイントと到達目標 | 評価の観点と補充学習 |
|-----|---------------------|--|--|
| 一学期 | 朝のリレー | 表現に着目しながら読み、詩に表れているものの見方や考え方を捉える。 | 読 表現に着目しながら読み、詩に表れているものの見方や考え方を捉えている。 |
| | オオカミの友だち | 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、登場人物の気持ちの変化を捉える。 | 読 場面の展開や登場人物の描写と登場人物の気持ちの変化との関連を評価しながら読んでいる。 |
| | 聞き上手、話し上手になるために | 話す速度や音量、ことばの調子や間の取り方、身振りや手振りなどの効果を意識しながら話す。 | 話聞 話す速度や音量、ことばの調子や間の取り方、身振りや手振りなどを自覚しながら、意図的に活用して話している |
| | ペンギンの防寒着 クジラの飲み水 | 段落と段落の関係に着目しながら、文章の展開を捉え、内容を読み取る。 読み手にわかりやすく伝えるための、筆者の表現の工夫を捉える。 | 読① 段落と段落の関係に着目しながら、文章の展開の意義や効果を評価しながら、内容を読み取っている。読② 読み手にわかりやすく伝えるための、筆者の表現の工夫の意義や効果を評価している |
| | 空中ブランコ乗りのキキ | 登場人物を書き出し、キキとの関わりを整理する。 キキはなぜ四回宙返りに挑んだのか、考える。 | 読 場面展開や登場人物の描かれ方に注意して読んでいる。 読 登場人物の判断や行動について、自分の考えをもっている。 |
| | チームの力を引き出す | 質問を効果的に使い、自分の考えと同じ点や違う点を確認したり、整理したりする。 | ・漢字の点画の種類と筆使いのポイントを意識して書いている。・文字の外形と中心、点画や部分の組み立て方を意識して漢字を書いている。 |
| | 字のない葉書 | 読書活動を推進する。 ・漢字の筆使いを意識して、毛筆で「地球」を書く。 ・字形を整えて書くポイントを意識して、硬筆で「青葉」のまとめ書きをする。 | ・平仮名の筆使いを意識し、字形を確認しながら「いろは歌」を書いている。・楷書の筆使いと字形、平仮名の筆使いと字 |
| | 【書写】漢字の筆遣い 漢字の字形 | ・平仮名の筆遣いや字形を意識して、小筆で「いろは歌」を書く。 | |

| | | | |
|-------------|--|--|---|
| | 楷書と仮名のまとめ | これまでに学習したことと横書きの書き方、片仮名の筆使いを意識して、「シダ植物の特徴」を硬筆で書く。 | 形、文字の大きさと配列を意識して文章を書いている。 |
| 二 学 期 | 食感のオノマトペ 話しことばと書きことば 竹取物語 故事成語――矛盾 玄関扉 論理で迫るか、感情に訴えるか 討論ゲーム 見えないだけ 少年の日の思い出 【書写】行書の特徴 点画の方向や変化 点画の連続 書き初めの練習 | 図表と文章との関係に注意しながら、事実とそれに基づく筆者の考えを読み分ける。 オノマトペの意味や効果について、自分の考えをもつ。 話しことばと書きことばについての理解を深める。 目的や相手に応じて、情報を編集する 行事案内リーフレット 古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、古典の世界にふれる。 現代とのつながりを考えて読み、物語のおもしろさについて、自分の意見をもつ。 現代にも受け継がれている故事成語の由来について理解を深める。 文章に示された事実と筆者の意見と理由を読み分けて、要旨を捉える。 玄関扉の例を中心に、文化の違いについて、自分の考えをもつ。 説得力をもつように、話の構成や討論の展開を工夫して話す。 詩の中のことばの意味を的確に捉えて、内容を理解する。 場面展開や人物描写に着目して、登場人物の心情の変化を捉える。 作品の構成の工夫を読み取り、その効果について自分の考えをもつ。 ・楷書と行書の「横画」を毛筆で書き、筆使いの違いを理解する。 ・点画の方向や形の変化を意識して、毛筆で「木立」を書く。 ・点画の連続を意識して、毛筆で「月光」を書く。 ・学習したことをもとに書き初めの練習をする。 | 読 図表と文章との関係に注意しながら、事実とそれに基づく筆者の考えを読み分けている。読 オノマトペの意味や効果について、自分の考えをもっている。 書 目的と相手を明確にして集めた情報を分類・整理して、わかりやすく構成している。 読 現代とのつながりを考えて読み、物語のおもしろさについて、自分の意見をもっている。言 古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、古典の世界にふれている。 読 現代にも受け継がれている故事成語について理解を深めている。 読① 文章に示された事実と筆者の意見と理由を読み分けて、要旨を捉えている。 読② 玄関扉の例を中心に、文化の違いについて、自分の考えをもっている。 話聞 説得力をもつように、話の構成や展開を工夫して話している。 読 表現に着目しながら、特徴と効果について自分の意見をもっている 読① 場面展開や人物描写に着目して、登場人物の心情の変化を捉えている。読② 作品の構成の工夫を読み取り、その効果について自分の考えをもっている ・滑らかな筆使いを意識して行書の「横画」を書いている。・筆脈を意識し、点画の方向や形の変化に注意して行書を書いている。・筆脈を意識し、点画の連続のしかたに注意して行書を書いている。 |
| 三 学 期 | この小さな地球の上で 思いや感覚に向き合い、考えを確かなものに トロッコ 一年間の自分とクラスを振り返って グループ新聞 【書写】これまでに学習したことを生かして、楷書・平仮名、行書で季節にまつわる詩歌や言葉を書くことができる。 | 地球や人間に対する筆者の考え方を読み取り、自分のものの見方や考え方を広げる。 事実や体験から導き出した自分の考えを、根拠を明確にして書く。 情景や行動の描写に表現されている、主人公の心情の変化を読み取る。 「少年の日の思い出」と読み比べ、それぞれの作品の特徴や、共通点・相違点について考える。 取材して集めた情報を、編集会議によって検討したり整理したりする。 文章を読み返し、表記や表現の仕方などを確かめて、正しく読みやすいものにする。 これまでに学習したこと（楷書の筆使いと字形／平仮名の筆使いと字形／行書の特徴／文字の大きさと配列）を意識して、楷書・平仮名、行書で書かれた季節の言葉を硬筆でなぞる。 | 読 地球人間への筆者の考え方から自分の見方や考え方を広げている。 書 事実や体験から自分の考えを、根拠を明確にして書いている。 読 情景や行動の描写に表現されている、主人公の心情の変化を読み取っている。 話聞 取材して集めた情報を、編集会議で検討したり整理している 書 文章を読み返し、表記や表現の仕方などを確かめて、正しく読みやすいものになっている。 ・これまでに学習したこと（楷書の筆使いと字形／平仮名の筆使いと字形／行書の特徴／文字の大きさと配列）を理解している。 |

社会科 第1学年 シラバス

1 年間のねらい・到達目標

・グローバル化が進むなか、世界とかかわりながら生活をしているのが今日の世の中です。そこで地理的分野では世界の国々について背景や現状を学び、歴史的分野では日本の歴史を室町時代まで学習します。これらを踏まえ、社会を形作る一員として自覚をもってもらうことが大きなねらいです。

2 指定教科書

| | | | |
|-----|----|-----------|--|
| 教科名 | 学年 | 教科書名（出版社） | 地理的分野：中学生の地理（帝国書院）、中学校社会科地図（帝国書院） 歴史的分野：未来をひらく歴史（教育出版） |
| | | 副教材 | 地理的分野：学習ワーク(よくわかる社会の学習 地理1：明治図書) 歴史的分野：未来へつなぐ歴史資料集（新学社） |

3 学習到達目標

- 1：世界の国について地域ごとの視点で、特徴を把握することができる（地理）。
- 2：世界の国について日本と同じ点、異なる点を見つけることができる（地理）。
- 3：昔の人はどのような事に着目し力を注いでいたかを感じることができる（歴史）。
- 4：昔と現代の生活との違いを見つけ、昔の人の気持ちになることができる（歴史）。
- 5：日本に誇りを持ち、特徴や歴史を語り伝えることができる（地理と歴史）。

4 学習の進め方

- ・学習に必要な情報量を絞ることで、シンプルに真実に向かって理解ができるよう進めます。
- ・動画を鑑賞し、具体的なイメージがわくように工夫します。
- ・大きな問いかけに対し、みなさんがノートに予想を立てて、情報交換を実施します。
- ・家庭では、ニュースで「〇〇では、」と放送されたら、すぐに場所を調べてみましょう。
- ・みんなが「研究者・博士」です（1学期に一つ、地理・歴史分野の気になることを調べ、「そのことについてクラスの誰よりも先生よりも自分が知っている！」というようになってほしいです）。

5 年間シラバス（1年間の学習予定）

| 学期 | 学習内容・項目 | 学習のポイントと到達目標 | 評価の観点と補充学習 |
|-----|---|--|---|
| 1学期 | ・地理的分野：世界のさまざまな地域／世界の諸地域（南アメリカ州・北アメリカ州） | ・地球儀や世界地図の使い方や特徴を学び、日本と世界各国の距離感をつかむことができる。 ・雨温図や写真を読み取る力をつけ、実際に現地に行かなくても情報を得ることができる。 ・経済成長と環境保全の視点から南アメリ | ・授業中の取り組みをもって関心意欲を評価します。 ・定期考査（1回）によって、思考・技能・知識を評価します。 |

| | | | |
|------|--|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> • 歴史的分野：歴史の移り変わりを考えよう／原始・古代の日本と世界 | <p>力州を、農業・経済分野で世界的な影響力をもつアメリカ合衆国を中心とし北アメリカ州の事例を学び、日本との状況の比較をすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 歴史に興味や関心を持ち、時代区分や年代の表し方を学ぶことで、歴史的な時間感覚を感じ取ることができる。 • 人類の出現から日本の大和政権による統一について学ぶことで、現在の暮らし方との違いを指摘することができる。 | |
| 2 学期 | <ul style="list-style-type: none"> • 地理的分野：世界の諸地域（ヨーロッパ州、アフリカ州、オセアニア州） • 歴史的分野：大帝国の出現と律令国家の形成、貴族社会の発展、世界の動きと武家政治の始まり | <ul style="list-style-type: none"> • ヨーロッパ州では産業・歴史・地域統合・地域間格差、アフリカ州では歴史・自然環境・農産物・生活、オセアニア州では代表国をオーストラリアとし、貿易・多文化社会について学び、既習の州と日本との状況比較をすることができる。 • 中国や地中海の統一国家、日本の天皇や貴族政治、武士の登場とその勢力の拡大を学び、現在の社会システムとの違いを指摘することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> • 授業中の取り組み、ノートチェック、提出物をもって関心意欲を評価します。 • 定期考査（2回）によって、思考・技能・知識を評価します。 • 小テストによって知識を評価します。 |
| 3 学期 | <ul style="list-style-type: none"> • 地理的分野：世界の諸地域（アジア州） • 歴史的分野：揺れ動く武家政治と社会、結びつく世界と出会い | <ul style="list-style-type: none"> • アジア州では、広範囲にまたがる地域の歴史・自然環境の違いを踏まえ、経済発展の進展について学び、既習の州と日本との状況比較をすることができる。 • 室町時代には幕府と朝廷のパワーバランス、南蛮貿易による世界とのつながりについて学び、現在の社会システムとの違いを指摘することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> • 授業中の取り組み、ノートチェック、提出物をもって関心意欲を評価します。 • 定期考査（1回）によって、思考・技能・知識を評価します。 • 小テストによって知識を評価します。 |

数学科 第1学年 シラバス

1 年間のねらい・到達目標

数量・関数・図形に関する基礎的な原理・法則についての理解を深め、事象を数理的に表現する能力を高め、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感しながら、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

2 指定教科書

| | | | |
|--------|-------------|-----------|-------------------|
| 数 学 | 1 学 年 | 教科書名（出版社） | 未来へひろがる 数学1年（啓林館） |
| | | 副教材 | 数学の問題ノート（新学社） |

3 学習到達目標

- (1) 数を正の数と負の数まで拡張し、数の概念について理解を深める。また、文字を用いることの意味及び方程式の意味を理解するとともに、数量などの関係や法則を一般的にかつ簡潔に表現し、処理できるようにする。
- (2) 平面図形や空間図形についての観察、操作や実験を通して、図形に対する直感的な見方や考え方を深めるとともに、論理的に観察する基礎を養う。
- (3) 具体的な事象を調べることを通して、比例、反比例の見方や考え方を深めるとともに、数量関係を表現し考察する基礎を養う。
- (4) 目的に応じて資料を収集して整理し、その資料の傾向を読み取る能力を培う。

4 学習の進め方

- (1) 1年時の授業では学習活動を明確にするために「聞く」「書く」「考える・解く」といった時間を明確に進めます。
- (2) 数学を勉強していくうえで、計算ができていないと問題を解くことができないので、反復練習を行います。
- (3) 数学の問題は答えが明確にですが、多様な考え方があるので、答えが出たとしても、別解がないかもっと簡単に解ける方法がないか探求しましょう。そのうえで、周りの人と意見交換をすることで、様々な考え方を知り、数学的な思考力・判断力・表現力を付けましょう。
- (4) 家庭で教科書の読み込み言葉の意味を理解したうえで授業に臨みましょう。また、授業で扱った問題を解き直したり、問題集を利用して演習したりしましょう。毎日10分は学習する習慣を身につけましょう。

5 年間シラバス（1年間の学習予定）

| 学期 | 学習内容・項目 | 学習のポイントと到達目標 | 評価の観点と補充学習 |
|-----|---|---|------------|
| 1学期 | 1章 正の数・負の数 ■1節 正の数・負の数 ■2節 正の数・負の数の計算 ■3節 正の数・負の数の利用 ■素数の積 | ■負の数の意味を理解し、正の数・負の数の必要性和有用性を知る。 ■正の数・負の数の四則について理解し、それらの計算ができるようにする。 ■素数の意味を理解し、素因数分解の仕方を理解している。 | |

| | | | |
|-----|--|--|---|
| | <p>2章 文字の式</p> <p>■1節 文字を使った式</p> <p>■2節 文字式の計算</p> | <p>■文字を使って、数量や数量関係などを式に表し、文字の必要性と意味を理解する。</p> <p>■文字を使った式の表し方を理解し、それに基づいて式に表したり、表された式の意味を読み取ったり、文字に値を代入して式の値を求めたりして、文字式の理解を深める。</p> <p>■簡単な式の加減法の計算ができるようにする。また、式に数をかけることや式を数で割ることができるようにする。</p> <p>■数量関係を等式や不等式に表すことができるようにする。</p> | <p><評価の観点></p> <p>数学への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション ・提出物 <p>数学的な見方や考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・プレゼンテーション <p>数学的な技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト <p>数量や図形などについての知識・理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト <p><補充学習></p> <p>定期考査前の質問教室</p> <p>定期考査1週間前には、放課後に質問教室を行う。</p> <p>長期休業中の補充授業</p> <p>基礎基本の定着を図るために、対象となる生徒を中心に1回50分程度の授業を行う。</p> |
| 2学期 | <p>3章 方程式</p> <p>■1節 方程式</p> <p>■2節 方程式の利用</p> <p>4章 変化と対応</p> <p>■1節 関数</p> <p>■2節 比例</p> <p>■3節 反比例</p> <p>■4章 比例、反比例の利用</p> <p>5章 平面図形</p> <p>■1節 直線図形と移動</p> <p>■2節 基本の作図</p> <p>■3節 円とおうぎ形</p> | <p>■方程式の必要性と意味、及びその解の意味について理解する。</p> <p>■等式の性質を見出し、それを活用して式を変形することで、方程式が解けることを知る。</p> <p>■一元一次方程式の解法を理解し、その解法に習熟する。</p> <p>■比例式を解くことができるようにする。</p> <p>■関数の意味を知る。</p> <p>■具体的な事象の考察を通して、比例、反比例の意味を知る。</p> <p>■座標の意味を知る。</p> <p>■比例、反比例を表、式、グラフなどに表し、それらの特徴を理解する。</p> <p>■直線、線分、角の意味や表し方を理解するとともに、垂直、平行などについて理解する。</p> <p>■図形の移動の意味と、その性質について理解する。</p> <p>■基本的な作図の仕方について理解し、それを利用することができるようにする。</p> <p>■円やおうぎ形についての基本的な用語の意味を知り、その表し方を理解するとともに、おうぎ形の中心角と弧の長さ、中心角と面積の関係について理解する。</p> <p>■おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができるようにする。</p> | <p><補充学習></p> <p>定期考査前の質問教室</p> <p>定期考査1週間前には、放課後に質問教室を行う。</p> <p>長期休業中の補充授業</p> <p>基礎基本の定着を図るために、対象となる生徒を中心に1回50分程度の授業を行う。</p> |
| 3学期 | <p>6章 空間図形</p> <p>■1節 立体と空間図形</p> <p>■2節 立体の表面積と体積</p> <p>6章 資料の活用</p> <p>■1節 資料の傾向を調べよう</p> | <p>■立体模型や、その見取図、展開図、投影図についての観察、操作や実験を通して、立体についての理解を深める。</p> <p>■立体をつくったり、観察したりすることなどを通して、空間における平面や直線の位置関係を理解する。</p> <p>■観察、操作や実験などを通して、平面図形や直線が動いたときにできる立体とその操作について理解する。</p> <p>■観察、操作や実験などを通して、柱体の表面積、錐体や球の表面積や体積とその求め方について理解する。</p> <p>■度数分布表やヒストグラム、代表値の必要性と意味を理解する。</p> <p>■度数分布表やヒストグラム、代表値を用いて資料の傾向をとらえ、目的や文脈に応じた判断ができるようにする。</p> <p>■誤差や近似値について理解し、必要な場面でこれらを適切に扱うことができるようにする。</p> | |

理科 第1学年 シラバス

1 年間のねらい・到達目標

自然の事物・現象について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。また、観察・実験の結果を分析して解釈を通じて、自然の事物・現象について理解を深める。さらに自然の事物・現象を日常生活や社会と関連付けて、科学的な見方や考え方を養う。

2 指定教科書

| | | | |
|-----|----|-----------|--|
| 教科名 | 学年 | 教科書名（出版社） | 新編 新しい科学 1 （東京書籍） |
| | | 副教材 | 中学 理科ノート 1年 （正進社） 理科の自主学习 1年 （新学社） 最新 理科便覧 東京都版 （浜島書店） |

3 学習到達目標

・単元1 植物の世界

身近な生物の観察・実験を通して、生物の調べ方の基礎を身につけるとともに、植物や動物のからだのつくりを、観察・実験の結果を分析し解釈することを通じて理解する。さらに、さまざまな生物を比較して得た情報を整理して、植物や動物の生活と種類についての認識を深める。

・単元2 身のまわりの物質

身のまわりの物質について観察・実験を行い、技能を習得するとともに、観察・実験の結果を分析して解釈し、表現する方法を身につける。また、固体や液体・気体の性質、物質の状態変化について日常生活と関連付けて理解し、物質に対する見方や考え方を養う。

・単元3 身のまわりの現象

光や音、力などの日常生活と関連した身近な事物・現象にかかわる観察・実験を通して、光や音の規則性や力の性質について理解するとともに、これらの事物・現象を日常生活や社会と関連付けて科学的に見る見方や考え方を養う。

・単元4 大地の変化

大地で起こるさまざまな事物・現象を、身近な地形、地層、岩石などの観察、地震の観測記録などの分析を通し、それらのしくみと大地の変化とを関連付けて考える科学的な見方や考え方を養う。さらに、さまざまな大地の変化が実社会・実生活と関連していることを認識し、理科を学ぶことの意義と有用性を理解する。

4 学習の進め方

① 主な授業の進め方

1週間あたり3時間の授業があります。今年度は「単元1」「単元2」…A と「単元3」「単元4」…B を並行して進めます。前期はAを週あたり2時間、Bを週あたり1時間で進め、後期はAを週あたり1時間、Bを週あたり2時間で進めます。

② 思考力・判断力・表現力の育成方法

思考力・判断力・表現力を高めるには授業中に教員から出された質問について問題や課題なども含めて、自分なりの答えを必ず出してみましょう。1回の授業時間は限られていますから、短時間で答えを考えることになると思いますが、決められた時間の中で「こうかもしれない。」という答えを必ず出してみましょう。まず、自分の考え（仮の答えを持つ。）ということ意識してください。またレポートなど、書き方がわからない場合は、教科書など参考になるものを「まず見る」という習慣を身に付けましょう。

③ 望ましい家庭学習

理科の家庭学習は「復習を中心に学習しよう」。第1学年の理科では、知識として覚えるべきことが数多くあります。授業中に何となくわかったつもりでいても、後に思い出せないことはよくあります。その日の授業で学習したこと、特に記号や公式を利用した計算の方法など、授業でのノートを参考に、その日のうちに見直し、学習した内容を整理しておきましょう。また復習の一環として、テスト前には問題集の問題を何度も解く練習をしましょう。

5 年間シラバス（1年間の学習予定）

| 学期 | 学習内容・項目 | 学習のポイントと到達目標 | 評価の観点と補充学習 |
|-------|--------------------------------------|---|---|
| 1・2学期 | A 単元1 植物の世界 <移行措置> 動物の分類 | 観察や実験などを行い、生物の体のつくり、植物や動物の仲間に関する事物・現象について基本的な概念、多様性や規則性を理解し、知識を身につける。 | 主な評価の方法・材料 ○定期テスト・小テストの 観点別の得点 …【関】・【思】・【技】・【知】 ○「観察・実験」の技能、 および取組状況 |
| | B 単元3 身のまわりの現象 | 観察や実験などを通して、光と音、力に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につける。 | …【関】・【技】 ○観察・実験レポートの 記述内容 …【思】・【知】 ○(授業中の)課題に対する 取組状況 |
| 2・3学期 | A 単元2 身のまわりの物質 | 観察や実験などを通して、物質のすがた、水溶液、状態変化に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につける。 | …【関】 自然事象への 関心・意欲・態度(25%) 科学的な思考・表現 (25%) |
| | B 単元4 大地の変化 | 観察、モデル実験などを行い、火山と地震、地層の重なりと過去の様子に関する事物・現象について基本的な概念、規則性、関連性を理解し、知識を身につける。 | 観察・実験の技能(25%) 自然事象についての 知識・理解(25%) |

英語科 第1学年 シラバス

1 年間のねらい・到達目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を培う。また、外国語で自分の意見を表現する活動を通して、思考力、判断力、表現力を養う。

2 指定教科書

| | | | |
|--------|-------------|-----------|---|
| 英 語 | 1 学 年 | 教科書名（出版社） | NEW HORIZON（東京書籍） |
| | | 副教材 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽トレ ペンマンシップ ・ジョイフルワーク ・キホンの夏 |

3 学習到達目標

- (1) 初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。
- (2) 初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話したり、書いたりすることができるようにする。
- (3) 英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。

4 学習の進め方

- ・学習した項目で、自己表現や課題解決的な学習を行う。
- ・外国人教師（ALT）との会話の機会を設定し、実践的なコミュニケーション能力の向上を図る。
- ・その日に習った部分の教科書の音読 10 回以上（25 回すると暗唱できると言われています）、単語の暗記（発音しながらノートに書く）、ノート作りの完成、ワーク（解答は見ずに、単元が終了した場所）の取り組み等。
- ・教科書の本文を暗記できるまで音読する。
- ・単語や文法事項を、たくさん問題を解いて使いこなせるようにする。間違えた問題は解けるまで何度も挑戦する。
- ・今までの復習も含め、単語や文法事項（重要表現など）を用いて自己表現文が書けるようにする。

5 年間シラバス（1年間の学習予定）

(S) 話す (W) 書く (R) 読む (L) 聞く

| 学期 | 学習内容・項目 | | 学習のポイントと到達目標 | 評価の観点と補充学習 |
|-------------|----------------|-------------------------------------|--|--|
| 一 学 期 | 小学校からの連携 | Hi, English! | <ul style="list-style-type: none"> ・時間帯に応じたあいさつのやりとりができる。(S) ・身のまわりにあるものや持ちものの英単語を聞き、何のことが理解できる。(L) ・数字、曜日、月、食べ物などの単語を発音できる。(S) | 発表活動等 【関心・意欲・態度】 定期テスト 【表現】【理解】【知識・理解】 |
| | Unit 0 | アルファベット単語の書き方 | <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの文字とそれが含まれる単語を正しく書くことができる。(W) ・英語の単語を、ルールに従って書くことができる。(W) ・英語の単語を書くときのルールを理解している。 | 音読・単元・定期テスト 【知識・理解】 |
| | Unit 1 | はじめまして文の書き方 | <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介をすることができる。(S)(W) ・be 動詞の形・意味・用法の意味を身につけている。 ・英語のルールに従って文を書くことができる。(W) ・英語の文を書くときの正しいルールを理解している。 | 提出物・発表活動 音読・単元・定期テスト 【関心・意欲・態度】 【表現】【理解】【知識・理解】 |
| | Unit 2 | 学校で be 動詞 辞書の使い方 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・This [That] is., He (She) is., の文とその疑問文、それに対する答え方・意味・用法に関する知識を身につけている。(S)(W) ・知人を別の知人に紹介することができる。(S) ・be 動詞の形・意味・用法の知識を身につけている。 ・辞書の見出し語の見つけ方に関する知識を身につけている。 | 提出物・発表活動 音読・単元・定期テスト 【関心・意欲・態度】 【表現】【理解】【知識・理解】 |
| | Unit 3 | わたしの好きなこと 一般動詞 Listening Activity 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きなことなどを話すことができる。(S) ・一般動詞現在の形・意味・用法の知識を身につけている。 | 提出物・発表活動 音読・単元・定期テスト 【関心・意欲・態度】 【表現】【理解】【知識・理解】 |
| | Unit 4 | ホームパーティー 辞書の使い方 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・買い物での注文や支払いのやりとりができる。(S) ・名詞の複数形、How many...? の形・意味・用法に関する知識を身につけている。(S)(W) ・命令文や Let's の文の形・意味・用法に関する知識を身につけている。 ・辞書の記号や品詞の見分け方に関する知識を身につけている。 | 提出物・発表活動 音読・単元・定期テスト 【関心・意欲・態度】 【表現】【理解】【知識・理解】 |
| | Presentation 1 | 自己紹介 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の名前や好きなことについて3文以上で書いて自己紹介することができる。(S)(W) | 発表活動・ALT との活動・提出物 【関心・意欲・態度】 【表現】【理解】【知識・理解】 |

| | | | | |
|----------------|----------------|--|--|--|
| 二 学 期 | Unit 5 | 学校の文化祭 | <ul style="list-style-type: none"> 自分が知らないものについてたずねることができる。(S) ものの性質や状態などについて話したり、内容を聞き取ったりすることができる。(L) 自分の知らないことについてたずねることができる。(S) What is...?、形容詞、What do you...?の文の形・意味・用法に関する知識を身につけている。 | 提出物・発表活動 音読・単元・定期テスト 【関心・意欲・態度】 【表現】【理解】【知識・理解】 |
| | Daily Scene 1 | 体調をたずねる | <ul style="list-style-type: none"> 相手の体調についてたずねたり、自分の体の不調について説明したりすることができる。(S)(L) | 発表活動・ALTとの活動 提出物・定期テスト 【関心・意欲・態度】 【表現】【理解】【知識・理解】 |
| | Unit 6 | オーストラリアの兄 三人称単数現在形 Listening Activity 2 | <ul style="list-style-type: none"> 自分と相手以外の人について紹介することができる。(S)(W) 自分と相手以外の人情報を聞き取ることができる。(L) 三人称単数現在形の形・意味・用法に関する知識を身につけている。 友達を紹介するスピーチを聞いて、その人についての情報を聞き取ることができる。(L) | 提出物・発表活動 音読・単元・定期テスト 【関心・意欲・態度】 【表現】【理解】【知識・理解】 |
| | Daily Scene 2 | 電話の会話 | <ul style="list-style-type: none"> 電話で相手を招待したり、内容を聞き取って答えたりすることができる。(S)(L) | 発表活動・ALTとの活動 定期テスト 【関心・意欲・態度】 【表現】【理解】【知識・理解】 |
| | Unit 7 | ブラジルから来たサ ッカーコーチ | <ul style="list-style-type: none"> 知らない人や時刻についてたずねたり、聞き取ったりすることができる。(S)(L) 2つのもののうち、どちらなのかたずねたり、聞き取ったりすることができる。(S)(L) 疑問詞(Who, What time, Which)の形・意味・用法に関する知識を身につけている。 | 提出物・発表活動 音読・単元・定期テスト 【関心・意欲・態度】 【表現】【理解】【知識・理解】 |
| | Daily Scene 3 | グリーティングカード | <ul style="list-style-type: none"> 目的に合わせていろいろなカードを書くことができる。(W)(R) | 発表活動・ALTとの活動 提出物・定期テスト 【関心・意欲・態度】 【表現】【理解】【知識・理解】 |
| | Unit 8 | イギリスの本 代名詞 音の変化 | <ul style="list-style-type: none"> ものがある場所や持ち主が誰かをたずねたり、聞き取ったりすることができる。(S)(L) 疑問詞(Where, Whose)、人称代名詞の形・意味・用法に関する知識を身につけている。 代名詞の形・意味・用法に関する知識を身につけている。 2語以上の英語が話される時の消える音、つながる音、変わる音の変化を聞き分けることができる。(L) | 提出物・発表活動 音読・単元・定期テスト 【関心・意欲・態度】 【表現】【理解】【知識・理解】 |
| | Daily Scene 4 | ウェブサイト | <ul style="list-style-type: none"> 自分の学校の紹介文を3文以上で書くことができる。(W) 学校紹介のウェブサイトを読んで、どのような学校かを理解することができる。(R) | 発表活動・ALTとの活動・提出物 【関心・意欲・態度】 【表現】【理解】【知識・理解】 |
| | Unit 9 | チャイナタウンへ行こう 進行形 Listening Activity 3 | <ul style="list-style-type: none"> 今、していることについて話したり聞き取ったりすることができる。(S)(L) 相手に何かを禁止したり、注意をうながしたりすることができる。(S) 対話を聞いて、だれが何をしているのかを聞き取ったり、掲示や看板が表す意味を理解したりすることができる。(R) 現在進行形、命令文(Don't..., Be...)の形・意味・用法に関する知識を身につけている。 現在進行形の形・意味・用法に関する知識を身につけている。 交通情報を聞いて、概要や要点を聞き取ることができる。(L) | 提出物・音読・単元・定期テスト 【関心・意欲・態度】 【表現】【理解】【知識・理解】 |
| | Daily Scene 5 | 道案内 | <ul style="list-style-type: none"> 徒歩での道順をたずねたり、教えたりすることができる。(S)(L) 目的地までの道順の説明を聞き、理解することができる。(L) | 発表活動・ALTとの活動・提出物 【関心・意欲・態度】 【表現】【理解】【知識・理解】 |
| Presentation 2 | 一日の生活 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の習慣や一日の生活について3文以上で書いて発表したり、友達の発表を聞いたりして内容を理解することができる。(S)(W)(L) | 発表活動・ALTとの活動・提出物 【関心・意欲・態度】 【表現】【理解】【知識・理解】 | |
| 三 学 期 | Unit 10 | あこがれのボストン 疑問詞 発音記号 | <ul style="list-style-type: none"> できることやできないことについて述べたりたずねたりすることができる。(S) 対話文を聞いたり、英文を読んだりして、できることとできないことや、いつできるかを理解することができる。(L)(R) canを用いた文、疑問詞Whenの形・意味・用法に関する知識を身につけている。 疑問詞の形・意味・用法に関する知識を身につけている。 発音記号で表される母音と子音のうち、基礎的なものを発音することができる。(S) | 提出物・音読・単元・定期テスト 【関心・意欲・態度】 【表現】【理解】【知識・理解】 |
| | Daily Scene 6 | ちょっとお願い | <ul style="list-style-type: none"> 身近な人に許可を求めたり、依頼したりすることができる。(S) 許可や依頼の内容を聞き取ることができる。(L) | 発表活動・ALTとの活動・提出物 【関心・意欲・態度】 【表現】【理解】【知識・理解】 |
| | Unit 11 | 思い出の一年 一般動詞の過去形 Listening Activity 4 | <ul style="list-style-type: none"> 過去に体験したことについて話したり書いたりすることができる。(S)(W) 過去に体験したことについて聞いたり読んだりして内容を理解することができる。(R) 規則動詞と不規則動詞の過去形の形・意味・用法に関する知識を身につけている。 一般動詞の過去形の形・意味・用法に関する知識を身につけることができる。 ラジオ番組を聴いて、概要や要点を聞き取ることができる。(L) | 提出物・発表活動 音読・単元・定期テスト 【関心・意欲・態度】 【表現】【理解】【知識・理解】 |
| | Daily Scene 7 | 絵はがき | <ul style="list-style-type: none"> 旅先からの絵はがきを3文以上で書くことができる。(W) | ALTとの活動・提出物 【関心・意欲・態度】 【表現】【理解】【知識・理解】 |
| | Presentation 3 | 思い出の行事 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の思い出の行事について3文以上で書いて発表したり、友達の発表の内容を聞き取ることができる。(S)(W)(L) | 発表活動・ALTとの活動・提出物 【関心・意欲・態度】 【表現】【理解】【知識・理解】 |
| | Let's Read | The Restaurant with Many Orders | <ul style="list-style-type: none"> 物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解することができる。(R) 登場人物の心情に合わせて気持ちを込めて音読することができる。(R) | ALTとの活動・提出等 【関心・意欲・態度】 【表現】【理解】【知識・理解】 |

音楽科 第1学年 シラバス

1 年間のねらい・到達目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

2 指定教科書

| | | | |
|--------|---|-----------|------------------------------|
| 音 楽 | 1 | 教科書名（出版社） | 中学生の音楽1（教育芸術社）音楽のおくりもの（教育出版） |
| | 学 | 副教材 | ミュージックノート（正進社） |
| | 年 | ※3年間使用 | コーラスフェスティバル（正進社） |

3 学習到達目標

楽しく、主体的に音楽活動に取り組み、基礎的な音楽表現の技法を学びながら、音楽の多様性、豊かさを感じ取る。

4 学習の進め方

- ① 授業の取り組み方…音楽に関心を持ち、主体的に学習内容に取り組む。
- ② 定期考査への取り組み方…学習した内容をプリントや副教材を活用し、繰り返し復習する。
- ③ 理解、取り組みが不十分な生徒への助言…協働的な学習方法や様々なアプローチによる学習内容の提示によって行う。
- ④ 評価について…主体的に学習に取り組んでいる。表現活動、鑑賞活動において、創意工夫をもって取り組んでいる。学習内容が定着し、表現できる。

5 年間シラバス（1年間の学習予定）

| 学期 | 学習内容・項目 | 学習のポイントと到達目標 | 評価の観点と補充学習 |
|-------------|-------------|--|--|
| 1 学 期 | ・校歌（表現） | ・基礎的な歌唱表現を身に付け、歌詞の内容を理解し、主体的に授業に取り組む。 | 「関心・意欲・態度」 授業観察、定期考査、ワークシート、実技テスト 「音楽表現の創意工夫」 定期考査、ワークシート、実技テスト 「音楽表現の技能」 実技テスト 「鑑賞の能力」 ワークシート、定期考査 |
| | ・箏に親しもう（表現） | ・日本の伝統音楽、楽器に触れ、音楽への関心の幅を広げる。 | |
| | ・動物の謝肉祭（鑑賞） | ・音楽を構成する要素を理解し、それに基づいて楽曲の鑑賞批評文を書くことができる。 | |

| | | | |
|----------------------------------|---|--|---|
| <p>2 ・ 3 学 期</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・マイバード (表現) ・混声三部合唱曲 (表現) ・ふるさと(表現) ・赤とんぼ(鑑賞) ・魔王(鑑賞) | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な歌唱表現の技能を身に付けるとともに、音楽を構成する要素を理解、意識して音楽表現に取り組む。 ・ハーモニーの構成を理解するとともに、その美しさ、豊かさを感じ取って、音楽活動を主体的に取り組む。 ・日本に伝わる伝統的な楽曲の由来、構成を理解し、その良さを楽しむ。 ・音、音楽がもつ要素を理解し、鑑賞批評文を書くことができる。 | <p>「関心・意欲・態度」 授業観察、定期考査、ワークシート、実技テスト</p> <p>「音楽表現の創意工夫」 定期考査、ワークシート、実技テスト</p> <p>「音楽表現の技能」 実技テスト</p> <p>「鑑賞の能力」 ワークシート、定期考査</p> |
|----------------------------------|---|--|---|

美術科 第1学年 シラバス

1 年間のねらい・到達目標

美術作品や文化遺産などの美しさや良さを感じ取ったり、制作の喜びを味わったりすることにより自分の生活を豊かにできる力を養う。

2 指定教科書

| | | | |
|----|--------|------------------|--|
| 美術 | 1 | 教科書名（出版社） | 美術（日本文教出版） |
| | 学 年 | 副教材 ※すべて3年間使用 | 美術の表現と鑑賞＜資料集＞（秀学社） レタリング字典（秀学社） スケッチブック・アクリルガッシュセット（ひかり工芸） |

3 学習到達目標

楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わう。また、表現方法を工夫して表すことができるようにする。

4 学習の進め方

- ① 授業の取り組み方・・・美術に関心を持ち、説明を聞いたり積極的に制作ができたりにする。また、自主的に準備や片付けができるようにする。
- ② 定期テストへの取り組み方・・・学習した内容をプリントや資料集を活用し、繰り返し復習する。
- ③ 理解が不十分な生徒への助言・・・わからないことが質問できるような環境を作り、個別に対応する。また、昼休みや放課後などに補習授業を行う。
- ④ 評価について・・・積極的に制作する。丁寧に制作する。提出期限を守る。自主的に準備や片付けをする。積極的に説明を聞く。忘れ物をしない。

5 年間シラバス（1年間の学習予定）週あたり1時間の学習

| 学期 | 学習内容・項目 | 学習のポイントと到達目標 | 評価の観点と補充学習 |
|-----------------------|--|---|---|
| 1 ・ 2 学 期 | <ul style="list-style-type: none"> ・スケッチブックの表紙制作 ・レタリングの学習 | <ul style="list-style-type: none"> ・レタリングについて興味を持ち意欲的に制作することができる。 ・自主的に準備、制作、片付けができる。 ・用具を巧みに使い明朝体とゴシック体の文字を正しい書体で美しくレタリングすることができる。 ・書体の特徴を理解し文字の構成を考えながらレタリングできる。 ・絵と文字、全体の構成を考えながら表紙のデザインができる。 ・スケッチブックの表紙を美しく仕上げることができる。 | <p>「関心・意欲・態度」 観察、テスト、準備、片づけ 忘れ物、提出期限</p> <p>「発想や構想の能力」 スケッチブック（作品）</p> <p>「創造的な技能」 ワークシート、スケッチブック（作品）、実技テスト</p> <p>「鑑賞の能力」 観察、テスト、鑑賞カード</p> |

| | | | |
|----------------------------------|---|--|---|
| <p>2 ・ 3 学 期</p> | <ul style="list-style-type: none"> 平面構成 「漢字一文字を使ったイメージデザイン」 色彩学 | <ul style="list-style-type: none"> 色や形の世界に関心を持ち、説明を聞いたり記述できたりする。 自主的に準備、制作、片づけができる。 平面構成の基礎を理解し、構図を創意工夫できる。 漢字のもつイメージを独創的かつ工夫できる。 色彩の基礎を理解し、色彩計画を創意工夫できる。 漢字のイメージ構想をもとに画面に美しく制作することができる。 配色や筆の使い方などを工夫して、美しく着彩できる。 色や形の魅力に気づき、配色や形の組み合わせを楽しむことができる 自他の作品の良さや工夫に気づき、お互いを認めあえる。 | <p>「関心・意欲・態度」 観察、テスト、準備、片づけ 忘れ物、提出期限</p> <p>「発想や構想の能力」 作品、アイディアスケッチ</p> <p>「創造的な技能」 作品、ワークシート 実技テスト</p> <p>「鑑賞の能力」 観察、テスト、鑑賞カード</p> |
|----------------------------------|---|--|---|

週あたり0.3時間の学習

| | | | |
|----------------------------------|--|---|---|
| <p>1 ・ 2 学 期</p> | <ul style="list-style-type: none"> 工芸デザイン 「パターンデザイン」 (連続する形の構成) 〈日本の伝統文化〉 | <ul style="list-style-type: none"> 色や連続する形の世界に関心を持ち、説明を聞いて制作できる。 自主的に準備、制作、片づけができる。 パターン構成の基礎を理解し、構図を創意工夫できる。 色彩の基礎を理解し、配色の創意工夫ができる。 定規やコンパスを巧みに使い、美しく仕上げることができる。 配色や色鉛筆のぬり方などを工夫して、美しく色ぬりができる。 | <p>「関心・意欲・態度」 観察、準備、片づけ 忘れ物、提出期限</p> <p>「発想や構想の能力」 作品、アイディアスケッチ</p> <p>「創造的な技能」 作品、ワークシート</p> |
|----------------------------------|--|---|---|

保健体育科 第1学年 シラバス

1 年間のねらい・到達目標

- 運動の特性や魅力、安全な行い方や体力の必要性などの知識を基に、心と体の健康増進に向けて基本的な技能を身に付けることができる。
- 自己の課題や解決策を考え判断し、他者に伝えることができる。
- 競争や協働の経験を通して、公正に取り組むこと、互いに協力すること、自己の役割を果たすこと、お互いを認めることへの意欲と健康・安全に留意して最善を尽くすことができる。

2 指定教科書

| | | | |
|-----|----|-----------|---|
| 教科名 | 学年 | 教科書名（出版社） | 中学校 保健体育（大日本図書） |
| | | 副教材 | 実技：ステップアップ中学体育（大修館書店） 保健・体育理論：保健学習ノート（正進社） |

3 学習到達目標

- 運動に関わる一般原則や事故の防止等の知識を理解し、それらを活用して運動実践ができる。
- 心と体の関連や運動の特性や魅力を実感し、主体的に運動との多様な関わり方が実践できる。
- 自他の課題を発見し、課題に応じた取り組み方を工夫することができる。
- 考え判断したことを、言葉や文章及び動作などで表わし、他者に伝えることができる。
- 運動に関する知識を基に、健康・安全な活動や課題解決に向けて全力を出して積極的に取り組むことができる。

4 学習の進め方

〔主な授業の進め方〕

- 安全確保のため、集団行動、規律を基本として体育分野の授業を行う。
- 体育係や体育委員を中心とした授業の導入を行う。（準備運動やランニングなど）
- 単元によっては男女共習で授業を進める。

〔思考力・判断力・表現力の育成方法〕

- グループ学習やペア学習などによる話し合い活動。
- 学習カードによる授業の振り返りや技能の考察。
- 新聞、レポート、スピーチ、意見発表などによる表現活動。

〔望ましい家庭学習〕

- 配布課題への習慣的な取り組み。
- 副教材を活用した、自主学習。（既習単元の振り返りや課題と解決策の整理）
- 定期考査前の復習。（学習カードを中心に各種目の基本知識や技能のポイントなど）

5 年間シラバス（1年間の学習予定）

| 学期 | 学習内容・項目 | 学習のポイントと到達目標 | 評価の観点と 補充学習 |
|----|---------------------------|--|---|
| 1 | 体づくり運動 | 心と体の状態に気付き、仲間と積極的に関わることができる。 | 〔関心・意欲・ 態度〕 授業観察 自習課題 提出物 発表 〔思考・判断〕 学習カード 自習課題 家庭学習 定期考査 発表 |
| | 陸上競技 (短距離走) | 運動の特性や魅力、専門用語や行い方などの知識と基本 技能の習得。滑らかな動きで速く走ることができる。 | |
| | 器械運動 | 技の名称や行い方、運動の特性や魅力などの知識と基本 技能の習得。前転、後転、倒立を基本とした技や、バラン ス系の技を組み合わせることで表現できる。 | |
| | 保健 (健康な生活と 疾病の予防) | 健康の成り立ちと疾病の発生要因、生活習慣と健康につ いての知識の習得。より良い過ごし方について考え伝え 合うことができる。 | |
| 2 | 体づくり運動 | 動きを高めるための運動の実践を通して、リズムカルな 動きや力強い動きを持続することができる。 | 〔技能〕 スキルテスト 授業観察 〔知識・理解〕 授業観察 学習カード 定期考査 |
| | 陸上競技 (リレー) | タイミングの良いバトンパスができる。課題に応じて練 習を工夫することができる。 | |
| | 球技 (ネット型) | 運動の特性や魅力、技術の名称や行い方などの知識と基 本技能の習得。基本的なボール操作と仲間と連携した動 きができる。 | |
| | ダンス (リズムダンス) | ダンスの特性や由来、表現の仕方などの知識と基本技能 の習得。リズムの特徴を捉え全身で踊ることができる。 | |
| | 陸上競技 (長距離走) | 自己のスピードを維持しながら、一定の距離を走ること ができる。仲間の健闘を認めることができる。 | |
| | 保健 (心身の機能の発 達と心の健康) | 身体機能の発達、生殖に関わる機能の成熟、精神機能の発 達と自己形成、欲求やストレスへの対処と心の健康につ いての知識の習得。生活の質を高めることに向けて、解決 策を考え伝え合うことができる。 | |
| 3 | 武道 (柔道) | 特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方など についての知識と基本技能の習得。受け身、投げ技や固め 技などの基本となる技を用いて、簡易な攻防ができる。 | 〔補充学習〕 自習課題を活 用した各単元 の予習、副教 材を活用した 家庭学習での 復習、定期考 査に向けた学 習支援 |
| | 球技 (ベースボール型) | 運動の特性や魅力、技術の名称や行い方などの知識と基 本技能の習得。基本的なボール操作と仲間と連携した動 きができる。 | |
| | 球技(ゴール型) ラグビー | ボール操作やルール、技の名称、オリンピックに関連付 けた知識と基本技能の習得。仲間と連携した動きができる。 | |
| | 体育理論 (運動やスポー ツの多様性) | 運動やスポーツの必要性や多様な関わり方や楽しみ方に ついての知識の習得。課題を見つけ、解決策を考え、それ を他者に伝えることができる。 | |

技術科 第1学年 シラバス

1 年間のねらい・到達目標

生活や産業の中で利用されている技術について、材料の特徴と適した加工法を理解し、工具や機器を安全に使用しながら作品を製作するとともに、生物の育成に適する条件と育成環境を理解しながら、目的とする生物の育成計画及び栽培を行う。

2 指定教科書

| | | | |
|---------|---|-----------|-----------------|
| 技術 年 | 1 | 教科書名（出版社） | 技術・家庭（技術分野） 開隆堂 |
| | 2 | 副教材 | 板材 |
| | 3 | | 植物栽培キット |

3 学習到達目標

- ① 材料の特徴と利用方法を理解できる。
- ② 材料に適した加工法を知り、工具や機器を安全に使用できる。
- ② 作品を設計し、それに基づく部品加工及び仕上げを行い、作品を製作できる。
- ③ 生物育成に適する条件と育成環境を理解できる。
- ⑤ 菊の育成計画を立て、計画に基づく栽培を進めることができる。

4 学習の進め方

- ① 材料に適した加工法を知り、自分の作品を設計する。
- ② 設計図に基づき、工具や機器を安全に使って作品を製作する。
- ③ 生物育成に適する条件と育成環境を理解する。
- ④ 菊の育成計画を立て、計画に基づく栽培を進める。

5 年間シラバス（1年間の学習予定）

| 学期 | 学習内容・項目 | 学習のポイントと到達目標 | 評価の観点と補充学習 |
|--------|---------------------------------------|--|---|
| 1 | 材料と加工に関する技術 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料の特徴と利用方法を知りながら、工具、機器の安全な使用方法を理解する。 ・ 加工法を知り、自分の作品を設計する。 ・ 自分の設計に基づいた作品を製作する。 | 設計図の提出 作業工程表の提出 定期考査による 技能、知識の理解度 |
| 2 3 | 材料と加工に関する技術 生物育成に関する技術 （並行して行う） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の設計に基づいた作品を製作する。 ・ 生物育成に関する条件と育成環境を理解する。 ・ 菊の育成計画を立て、計画に基づく栽培を進める。 | 作業工程表の提出 完成した作品の提出 菊の栽培レポートの 完成と提出 定期考査による 技能、知識の理解度 |

家庭科 第1学年 シラバス

1. 年間のねらい・到達目標

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活に必要な基礎的・基本的な知識・技能を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題を持って生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

2. 指定教科書

| | | | |
|-----|----|-----------|-----------------|
| 教科名 | 学年 | 教科書名（出版社） | 技術・家庭 家庭分野（開隆堂） |
| | | 副教材 | 新家庭科資料（新学社） |

3. 学習到達目標

1. 自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考えることができる。
2. 自分の食生活に関心をもち、生活の中で食事が果たす役割を理解し、健康に良い食習慣について考えることができる。
3. 栄養素の種類と働きを知り、中学生に必要な栄養の特徴について理解する。
4. 食品の栄養的特徴や中学生の1日に必要な食品の種類と概量について知り、中学生の1日分の献立を考えることができる。
5. 基礎的な日常食の調理、安全と衛生に留意した食品・調理用具の適切な管理ができる。また、地域の食文化について理解する。
6. 家族の住空間について考え、家族の安全を考えた室内環境の整え方を知り、快適な住まい方を工夫できる。

4. 学習の進め方

〈主な授業の進め方〉

- 講義形式の授業では、1時間で1枚のワークシートを使って学習します。資料集とファイルは、最初の授業でこちらから配布するので、皆さんは教科書と筆記用具を用意してください。
- 授業では、生活に関連した誰もが答えられる発問をし、あなたの考えをたくさん聞いていきます。ワークシートの中には自分の考えを記入する欄がありますので、必ず記入するようにしましょう。
- 授業の中で、周りの人と意見交換をする場面があります。自分と同じ考えだけでなく、違う考えも記入できるとよいです。
- 班で協力して実験をしたり、実習をしたりする授業があります。様々な意見を大切にしながらも、目標を明確にもって、前向きに取り組んでいきましょう。

〈思考力・判断力・表現力の育成〉

- 自分の考えを書く時間を設定することで、考える時間を確保し、思考力を育成する。
- 自分の考えと周りの人との考えを交流する場を設け、表現力を高める。
- 他の人の考えを聞いた後に、再考の時間を設けることで、自分の考えを深め、判断力を養う。

〈望ましい家庭学習〉

- 家庭科の学習内容は生活と大きく関わっています。学習したことが自分の生活とどう関係があるのか、常に考えていきましょう。
- 学習し、身に付けた技能を日常生活で活かし、身の回りのことを行ってみましょう。

5. 年間シラバス（1年間の学習予定）

| 学期 | 学習内容・項目 | 学習のポイントと到達目標 | 評価の観点と補充学習 |
|----|---------|---|--|
| 1 | 健康と食生活 | <p>〈学習のポイント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ★食事の役割や健康とのかかわりについて考え、自分の食生活を振り返り、課題を見つけよう。 ★食品の栄養的特徴をつかみ、中学生に必要な栄養素を考えよう。 ★学習したことを活かして献立作成に取り組もう。 | <p>〈関心・意欲・態度〉</p> <p>ワークシート 課題 定期考査 実習</p> |

| | | | |
|----------|--|--|---|
| | <p>食品の選択と保存</p> | <p>〈到達目標〉 ☆食事の役割や健康とのかかわりを考えることや自分の食生活を点検し、課題を見つけることができる。 ☆食品の栄養的特徴を理解している。 ☆1日分の献立作成方法を理解している。</p> <p>〈学習のポイント〉 ★生鮮食品と加工食品の違いや特徴を考えよう。 ★食品の表示に興味をもち、保存方法や添加物について考えよう。 ★食生活を取り巻く問題に関心を持ち、よりよい食生活を考えよう。</p> <p>〈到達目標〉 ☆生鮮食品・加工食品の特徴を理解し、利用方法などについて説明できる。 ☆食品の表示を理解し、適切な保存方法ができる。また食品添加物の種類や使用目的などについて理解している。 ☆食生活を取り巻く問題を見つけることができる。</p> | <p>〈創意・工夫〉 ワークシート 定期考査</p> <p>〈技能〉 ワークシート 実習</p> <p>〈知識・理解〉 定期考査</p> |
| <p>2</p> | <p>調理をしよう</p> <p>地域の食材と食文化</p> | <p>〈学習のポイント〉 ★班員と協力して、実験に取り組んだり、実習の計画を立てたりしよう。 ★安全に調理実習（肉・魚・野菜）に取り組もう。</p> <p>〈到達目標〉 ☆班員と協力して実験・実習ができる。 ☆安全に調理実習ができる。</p> | |
| <p>3</p> | <p>住まいとはたらき</p> <p>健康で安全な住まい</p> <p>住まいと地域</p> | <p>〈学習のポイント〉 ★住まいの役割について考え、家族によって住まい方が変化することを考えよう。</p> <p>〈到達目標〉 ☆住まいの役割や生活行為と住空間についてまとめることができ、家族の変化による住まい方の工夫ができる。</p> <p>〈学習のポイント〉 ★安全に暮らす方法を考えよう。</p> <p>〈到達ポイント〉 ☆健康で心地よく住むための室内環境の条件をまとめることができる。</p> <p>〈学習のポイント〉 ★住まいにおける災害への備えを考えよう。 ★住まい方と地域の関係を考えよう。</p> <p>〈到達ポイント〉 ☆災害への備えの必要性を理解している。 ☆住まい方が地域に及ぼす影響を理解している。</p> | |